

# 令和5年度 第1回中央市総合教育会議 議事録

招 集 日 時 令和5年11月10日（金）午後1時30分から午後2時40分まで

招 集 場 所 中央市役所 南館 2階 205会議室

出席構成員 市 長 望 月 智 教 育 長 石 田 秀 博  
教育長職務代理者 保 坂 かおり 教 育 委 員 志 村 祐 二  
教 育 委 員 河 西 忠 衛 教 育 委 員 石 原 英 一

出席説明員 教育総務課長 中 込 誉 生涯教育課長 岡 野 秀 典  
教育指導監 中 村 文 彦

事務局職員 総 務 課 長 功 刀 裕 章 総 務 課 上 森 貴 之  
総 務 課 山 形 亮 輔 総 務 課 大 迫 俊 毅  
総務行政担当 総務行政担当

傍 聴 者 なし

協 議 事 項 今後の教育のあり方について

議 事 録 次のとおり

事 務 局 これより令和5年度第1回中央市総合教育会議を開会いたします。本日、司会進行を務めさせていただきます総合教育会議事務局の総務課、功刀と申します。よろしく願  
いいたします。

市 長 それでは次第に沿って進めて参ります。始めに、望月市長よりご挨拶を申し上げます。  
改めまして、こんにちは。本日は、令和5年度第1回中央市総合教育会議のために、  
ご参集いただき誠にありがとうございます。

さて、11月3日には、4年ぶりとなります「中央市ふるさとまつり」を実施させていただきました。非常に大盛況で、主催者発表では4万人の方にご来場いただきました。多くの方が1日を通して、ふれあいを求めて会場にお集まりいただいたということで、本当に嬉しい限りでございます。これからも事業・催し・イベント、ひとつひとつを積み重ねていきたいと思っておりますので、教育委員の皆様方にもご協力をお願いしたいと思っております。

市長 　また、インフルエンザが流行ってきています。今月10日の時点で県内1,600人を超える罹患者が出ているということで、市内学校においても学級閉鎖等、大変苦慮しているところがございます。新型コロナウイルスについても依然として罹患者が出ている状況も踏まえまして、健康管理に気を付けていかなければならないなど感じております。

　教育委員の皆様方におかれましては、中央市の教育市政全般について、日頃よりご尽力、又はご協力を賜っております。この場をお借りして深く感謝を申し上げます。

　本日の議題は「今後の教育のあり方」と、非常に幅広いテーマとなっておりますが、教育委員の皆様方からの忌憚のないご意見を頂戴できればと思います。本日は、大変ありがとうございます。

事務局 　ありがとうございました。

　続きまして、議事に入りたいと思います。議事の進行につきましては、お手元に配布してあります中央市総合教育会議設置要綱第3条第4項の規定により、望月市長に進めていただきます。それでは、望月市長、よろしく願いいたします。

市長 　それでは、議事に入ります。

○ 議 事 　： 今後の教育のあり方について

　幅広いテーマとなっておりますので、少しテーマを絞って議論を深めたいと思っております。最近の課題となっているテーマを挙げていただいて、そのことについて教育委員の皆様方からご意見を頂戴するという形で進行したいと思っております。

　テーマはございますか。

教育長 　最近の課題となっているテーマとして、市内各学校の再編を見据えた学校のあり方の検討を、各学校で懇話会から始めまして、現在は専門家の方々に委嘱しております検討会において議論を進めているところであります。

　今後の本市の学校教育の方向性を見極める、教育施策に資するものと思っておりますので、市長と教育委員の皆様方に意見交換をお願いいたします。

市長 　ただいま、教育長から提案がありましたので、こちらをテーマとして教育委員の皆様方からご意見をいただきたいと思っております。委員の皆様方のそれぞれの立場からお話をいただければと思いますので、よろしく願いします。

河西教育委員 　教育長のお話にあった懇話会には今年の春から参加していて、各学校の意見を聞いてきました。私が感じたこととなりますが、学校の建替えは長寿命化計画に則って、すでに策定された計画のとおり次々に建替えられていく。新たに建替えた田富北小学校は、次の建替えまで最低でも40年先になるのではないのでしょうか。この長寿命化計画が策定された頃に見込まれていた人口の増減は、いまでは大幅な減少に転じています。子ども達にとって一番良い教育環境を考えたときに、学校に通う児童生徒の人数というのは大事になってきます。再編せずにいまのままで残していくと、地域性という意味では良いのですが、教育環境としてはあまりにも小さくなり過ぎる学校も出てくるのではないかと。やはり、この時点から統廃合というのを考えていくべきだと思います。

河西教育委員 子ども達により良い教育環境を与えていくという観点から、是非、市全体で取り組んでいっていただけたらと思います。

懇話会では、色々な意見がありました。地域の学校がなくなるのは嫌だという意見も多くありました。あるいは、リニア中央新幹線の開通によって人が増えるからそこまで悲観しなくても良いでしょうか。ただ、そこまでの希望的な観測では検討を進められないかなど、現実を踏まえた検討を重ねていって欲しいなと思います。

市長 ありがとうございます。いま、河西委員がおっしゃられたような自分の想いを、各委員からもいただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

保坂 私が感じていることは、いくつかあります。教育方法は大きく変わってきています。現代の教育方法に適合するには、大規模改修では対応できないこともあるのではないのでしょうか。今後、先を見通して教室の数を変えたり、要らないものはなくし、新しいものを取り入れて欲しい。タブレットが当たり前の時代になり、この先、5年、10年とどんどん変化していくことに合わせて、学校のあり方も変えていかなければならないと思います。余談ですが、田富北小学校を内覧したときに、子どもが隠れるようなスペースを見ることがありました。そこは動き回る子どもがクールダウンするためのスペースだと聞き、驚きました。

私の地元にある豊富小学校は、それほど児童の人数も多くありませんが不登校気味の児童が多いような気がします。クラスメイトとトラブルがあっても、クラスが一つしかなくクラス替えができないため、そういった子どもが目立ってしまうことも原因の一つなのかなと思います。また、先生の人数も決められているため、不足している様子です。もちろん、小規模な学校にもメリットはあり、近くの学校に子どもを通わせたいという親も多いと思います。そういった問題を解決していく、先のことを考えて、いま学校のあり方を見直していくべきだと思います。

また、子どもの親の考え方が、昔とは変わってきていると思います。日本の授業を受けるスタイルに疑問を持ち、子どもに学校に行かなくても良いと言う親もいます。小中学校の統廃合を見直していくと同時に、不登校、いじめ、発達障がい、外国籍、そういった子ども達も平等に通えるようなフリースクール、自由な学校を中央市に設立する検討もして欲しいです。

志村教育委員 私は教育現場の人間でした。当時から10年位が経過していますが、現場を見させていただく機会もあるので、現場が大きく変わったことを感じます。例えば、小学校における英語科目の導入、GIGA スクールの開始、働き方改革、教員のなり手が少なくなっていること。私がいた頃からは考えられないようなことが起きているのが現状です。

10年でこれだけ変わっているのだから、これから先どういうものが要求されるのか、どういった環境が望まれていくのか想像できない部分もあるのですが、いま策定されている長寿命化計画によって教室の間取りを自由にできないという状態にある中、色々な機能を持った校舎を建てることは難しいのだろうなと思っています。ただ、校舎を建て替える以上は、できる限りの機能を持った環境を用意してあげるのも教育委員としての務めだと思いますし、市としてもそういった事情を考慮していただきながら検討を進めていただければいいなと思っています。

石原教育委員

小中学校の統廃合については、進めるべきであるという考えを最初にお伝えしておきます。地域性を尊重する中で統廃合の話を進めていくこと、今後を見通した学校教育のあり方を検討することは、いま我々が負うべき責務であると思います。

先ほどから話に出ています長寿命化計画に則った財政支出に対して、教育的な効果がどれほどあるのか。改築に改築を重ねて、来年度から始まるデジタル教科書に対応する教育環境となっているのか。私は、否、なっていないということになるかと思えます。長寿命化で小手先の改築を繰り返すよりも、将来を見据えた新築となるよう、統廃合の検討を進めるべきだと思えます。

また、人員不足に対する支援ですが、本当に困っている子ども達に、学校に、ピンポイントに財政支援を行う。これこそ、費用対効果を考えた支援であり、教育的な効果が見込まれるものと考えます。いまこそ、学校教育の質的な格差を是正する。

地域の学校、自分の出身校がなくなることは非常にさみしいことですが、教育によって人を育てなければ中央市は良くなりません。

市長

ありがとうございました。教育委員の全員から、市内学校の再編に対するご意見をいただきました。検討すべきことなど、大変貴重なご意見でした。検討会の内容については、教育長から私のところに報告をいただいております。今後の進め方等については、ロードマップの作成など見える化を図りながらお伝えしていきたいと思っております。

私の方からは、本市が実施した教育に関する取り組みを紹介したいと思います。市が策定しました第2次中央市長期総合計画の中に、質の高い教育環境の構築を目指すという目標を掲げているところであります。また、私の公約の中にも、未来に羽ばたく子ども達を応援するという想いがあります。具体的な取り組みとして、今年度は市単教諭を5名増員しました。来年度に向けて増員していくということで、計画的に進めていければと思っています。学力向上支援スタッフも配置しているなど、引き続き子ども達の学習支援をしていきたいと考えております。一人一台パソコンの整備もさせていただいておりますし、パソコンを活用するための大型のプロジェクター設置の準備も進めております。

大規模改修に関しては、田富小学校の長寿命化を図るため、今年から仮設校舎を建てて工事に入ります。そういった必要な整備を進める中で、統廃合する部分は統廃合をする計画を立てながら教育環境の整備を進めております。統廃合は市民全体の話でもありますので、簡単に進められるものではないと考えていて、色々な方面から市民の話を聞く中で、子ども達にとって最善な形を見極めながら進めていくことを十分に意識しながら、この問題を進めて参りたいと思えます。

ここからはテーマを絞らずに、教育委員の皆様方からお話を頂戴できればと思います。いかがでしょうか。せっかくの機会ですから、よろしく申し上げます。

河西教育委員

市長がおっしゃられた市単教諭の増員ですが、現場からは大変助かっているとの声を聞いております。是非、続けていただきたいと思えます。

私は、中央市の教育について、特徴的な部分があっても良いのではないかと考えています。例えば、ICT教育の機材は整っているのですが、運用はそこまで進んでいないように感じます。現場を見聞きした限りでは、子ども達もタブレットを上手く扱えてい

河西教育委員 ないような気がします。この部分を伸ばして、中央市の子ども達はICTに精通していると言われるように持っていければ。将来的にICTとの関りがなくてはならない時代の子供達ですから、小さいときから慣れ親しむ環境を作ってあげたい。この部分に限る訳ではありませんが、中央市らしい教育というものをどこかに作れば良いかなと思います。

教 育 長 今年の5月にデジタル教育の展示会がありまして、教育委員の皆様と一緒に視察に行き、全国の先進的な事例などを学びました。例えば、埼玉県戸田市、東京都渋谷区、千葉県成田市。そういった先進事例と比較してしまうと、そのように感じてしまうのかなと思います。河西委員がおっしゃられたとおり、ICTとの関りは子ども達に欠かせないものになりますから、なんとか進めていきたいものと考えています。

河西教育委員 学校でも一生懸命やっただいていては思っていますが、専門の支援員を配置するなどしないと難しいのではないのでしょうか。先生方も年代によっては得意不得意もあるかもしれませんが、学校現場でICTを全面的に押し出していくような流れができて、当たり前でICTが使われるようになれば良いかなと思います。

石原教育委員 河西委員がおっしゃられたとおり、授業をする側の教師の意識が変わらなければならないと思います。そういった働きかけをする研修を市全体に対して実施する。小中学校の校長を含めた全ての先生方、保育園の先生方まで含めまして、保育園-小学校-中学校の連携した意識の改革を行わないと、学校教育の効率的な改善というのはできないのではないかと。児童生徒と教師の両輪に働きかけをしていく必要があると思います。

市 長 せっかく整えたICT機材ですから、活用しない手はないと思います。活用するためには、触れていただく、慣れていただく。両委員から頂いたご意見を参考に、教育現場に働きかけをしていきたいと思っております。

石原教育委員 中央市の教育の特徴となるものということで、いまソフトの面について話をしましたので、今後はハードの面について触れたいと思います。中央市に国体が招致できるような体育館がある、といったことも特徴となるのではないのでしょうか。山梨県でも一番になるような立派な体育館を建築できたなら、それは学校教育の範囲を超えて、生涯教育・体育、高齢者の生きがいにまで話が及ぶことになって、山梨県の真ん中にある本市の存在をアピールすることもできる。飛躍したお話で申し訳ありませんが、是非、そういったこともご検討いただきたいと思っております。

市 長 市では、リニア中央新幹線のルートの影響に伴う市民体育館の移設を進めているところですが、令和6年2月には中央市総合防災公園の供用が開始となります。市民体育館の建設用地は同公園内に確保していますが、時期と規模については議論しております。なお、石原委員がおっしゃられた国体の招致ですが、会場招致のための建設費に対する山梨県からの財政支援はありませんので、財源の確保も考えながら、色々な方面からの検討はさせていただいております。

例えば、本市出身のスポーツ選手に卓球の平野美宇選手がいますので、卓球の公式大会が開けるような体育館というのも一つの案としてあると思っておりますし、バレーボールの公式大会が開けるだけのコート数が取れるような体育館にするといった案もあると思っております。

市長 そのためには、体育館の大きさだけではなく、空調設備もしっかりとした基準に適合していないと大きな大会は開催できません。空調設備に関しては、脱炭素の考え方によりヒートポンプなどのCO2削減を考慮する中で検討しています。

様々なことを視野に入れながら市民体育館の移設の協議を進めて参りますので、教育委員の皆様方からもご意見等いただけたらと考えております。

志村教育委員 体育館に限らず、多目的な施設というのは使用してみると不便に感じるものが私個人としてはあるように思います。市内の体育施設も使いやすいうところに人気が集まってしまっていて、私の周りでも申し込みの抽選に漏れてしまったという話を聞きます。色々なものに使えるというのは、反面、専門的な施設よりも使いにくいということにもなり得ます。施設の用途を考えることも難しい。

さて、別の話をさせていただきます。中央市・昭和町教育支援センター「にじいろ教室」は、現在は玉穂支所の敷地内に設置されていますが、以前に別の所に移動するという話があって、幾つかの候補地の提示もありましたが確定したとは伺っていません。その後、どうなったのか教えてください。

また、先ほど保坂教育長職務代理者の話にもあったフリースクールは、以前は出席扱いにならずになかなか通いにくい部分もありましたが、最近は教育に力を入れた内容となっていて学校長が認めれば不登校でも出席扱いと認められるようになりました。そういう意味でもフリースクールなどの不登校の児童生徒の居場所を保障する場所は、これからますます必要と思っています。単に部屋があってチョークと黒板があれば授業ができるという昔ながらのやり方ではなく、色々な活動ができて、子ども達のそれぞれの特徴が生かせる場所となれば、そこで子どもが自信を持つことができ、学校に戻っていける子どもは結構いる。それには、ある程度の広さの建物と人材が必要となります。このことは全国的にも注目されている課題となっています。昭和町との共同設置ということで動きにくい部分はあると思いますが、前向きに取り組んでいただければありがたいなと思っています。

教育長 志村委員からご指摘のあったとおり、現在の「にじいろ教室」はプレハブを使用した仮設的な施設となっています。昭和町との共同設置については、設置した当時としては良かったのですが、時代の推移と共に変わってきているという思いは、本市と昭和町との間で共有しています。

移行の方向性としては、数年以内に廃止となる本市公共施設を「にじいろ教室」として活用していく構想があります。構想のとおりになった場合は、かなりの広さを確保できますので、現在は一緒になっている小中学生の教室を、小学生と中学生に分けられるようになるほか、相談室や屋外運動スペースを設ける予定です。

市長 いま話に出たような公共施設等の利活用については、中央市公共施設等総合管理計画に則って公共施設等の集約を検討している中で進めています。教育支援センターは重要な課題でありますので、しっかりと機能を持った施設への移行を図りたいと思います。

教育長 喫緊の問題として、中学校の部活動の地域移行についても進めていかなければなりません。定例の教育委員会の中では触れる機会が余りありませんでしたので、この機会に教育委員の皆様方からのご意見をいただきたいと思っています。

教 育 長	地域部活動の受け皿としては、地域のスポーツクラブや関係団体等が挙げられます。しかし、段階的な移行を進める現状では、教師側と受入れ団体側のそれぞれの考え方の違いなどの課題があります。
河西教育委員	受入れ団体の確保が、都心部に比べて人材がいらないため難しいと思います。なかなか進まないのだとしたら、一番の問題は人材不足だと思います。
志村教育委員	部活動の地域移行の受け皿の準備は、もっと進めるべきだと思います。学校では生徒が希望する部活動の全てを人的な制限によって用意できませんが、地域においては対応できるものがあるかもしれない。いまでも小学生までは地域にスポーツ少年団がありますが、中学生になると継続できなくなってしまう。逆にいえば、地域で色々な部活動を作ってあげて、少人数であれば近隣の学校からも生徒を受け入れられるのが理想かなと思います。生徒の選択肢が増えることで、やりたい事をやらせてあげられる。充実した中学校生活を味わって欲しい。学習以外のことに熱心になり、才能を開花させる生徒というのもいると思います。
市 長	人材が最初からいるところは、部活動の地域移行も進んでいます。格差とならないよう地域の人材を確保・マッチングする仕組みを考えないといけない。
教 育 長	近隣の先行事例として、ヴァンフォーレ甲府と結びつきのある団体に委託して幅広く活動しているケースがあります。サッカーに限らず、バトミントン、卓球、ボウリングなど、何でも受けますと言っているそうです。
	次に、スポーツ協会を法人化している自治体では、来年度からスポーツ協会に依頼をして、様々なスポーツの指導者が指導に当たるとのことです。
	また、地域スポーツコミッションを設立した自治体では、サッカー、野球、ハンドボール、ラグビーなど、子ども達がやりたいスポーツを地域の大人達が受けましようという体制づくりが進められています。
	県内でも進んでいるところはありますので、市教育委員会としても支援を進めていかなければならないと感じています。
石原教育委員	10年位前になりますが、アメリカの教育現場を視察しました。あちらの教員は教員としての仕事以外は行わずに、それ以外の全ての事務は支援員が行います。部活動についても子ども達は地域のクラブに通っていて、日本がこれから整備しようとしている環境が確立されていきました。その様子を見ると部活動の地域移行が叶えば、働き方改革に繋がって教員のなり手不足の解消にも寄与すると思います。ただし、保護者の金銭的な負担が増えて、新しい教育格差とならないように配慮する必要があります。子ども達が自分の学びたいものを選び、将来に向けた希望を持てるような補助制度や人材確保が必要だと思います。
	人材確保の方策として、県内において人材バンクの活用を図ることで、市内在住者に限らずに場所や時間を調整できる範囲で実施していけたらと思います。
教 育 長	先ほどの先行事例についても、かなり行政の支援があったものと思います。本市でも一過性なものとならないよう必要な支援を見極めて、地域の持続可能で多様な部活動の環境を一体的に整備していきたいと思います。

河西教育委員 部活動の地域移行も働き方改革と連動しているものとなりますが、この働き方改革については、教育委員として見てきましたがあまり変わってこないように思います。

石原委員がおっしゃったアメリカの教育現場のように、先生は先生にしかできない仕事だけをしてもらえるような支援体制を作らなければ変わらないのではないのでしょうか。事務仕事は1か所に集約して効率化を図るなど、新しい発想をもって働き方改革を進められるよう市のバックアップをお願いしたい。教員の働き方改革は、案は出されているけれども、それが実っていない。現場にいる人間の頑張りで変われるようなものではないと感じています。

市長 教員の働き方改革は、未来ある子ども達へのサポートでもありますから重要なものであると認識し、できるだけ取り組んで参りたいと思います。

ここで時間になりましたので、議事を締めさせていただきます。貴重なご意見をありがとうございました。いただいたご意見を整理しながら、市の政策に反映していきたいと思えます。それでは、司会を教育総合会議事務局にお返しします。

事務局 ありがとうございました。

それでは、次第の4. その他になりますが、次回の会議の開催についてご案内いたします。総合教育会議で協議すべき事項の中に「緊急な問題が生じた場合」というものがありますので、必要な場合には会議を招集させていただきますが、特段緊急を要する問題がなければ、次回は来年度の開催を予定しておりますので、よろしく申し上げます。

それでは、以上をもちまして令和5年度第1回中央市総合教育会議を閉会とさせていただきます。大変ありがとうございました。